

善福寺川整備工事（その206）その2 工事説明会

日時：①令和6年5月10日（金）18：30～20：00
②令和6年5月11日（土）13：00～16：00

会場：杉並区立松溪中学校 体育館
（住所 東京都杉並区荻窪2丁目3-1）

発注者：東京都第三建設事務所

施工者：名工建設株式会社

資料目次

- ・ 善福寺川整備事業の概要 P3～P8
- ・ 善福寺川整備工事（その206）その2の工事内容 P9～P21
- ・ 工事ヤードとして使用している公園敷地復旧の今後について
【西田橋上流～神通橋】 P22
- ・ 工事に伴う家屋調査と家屋損害賠償について P23
- ・ 問い合わせ先 P24

善福寺川の概要

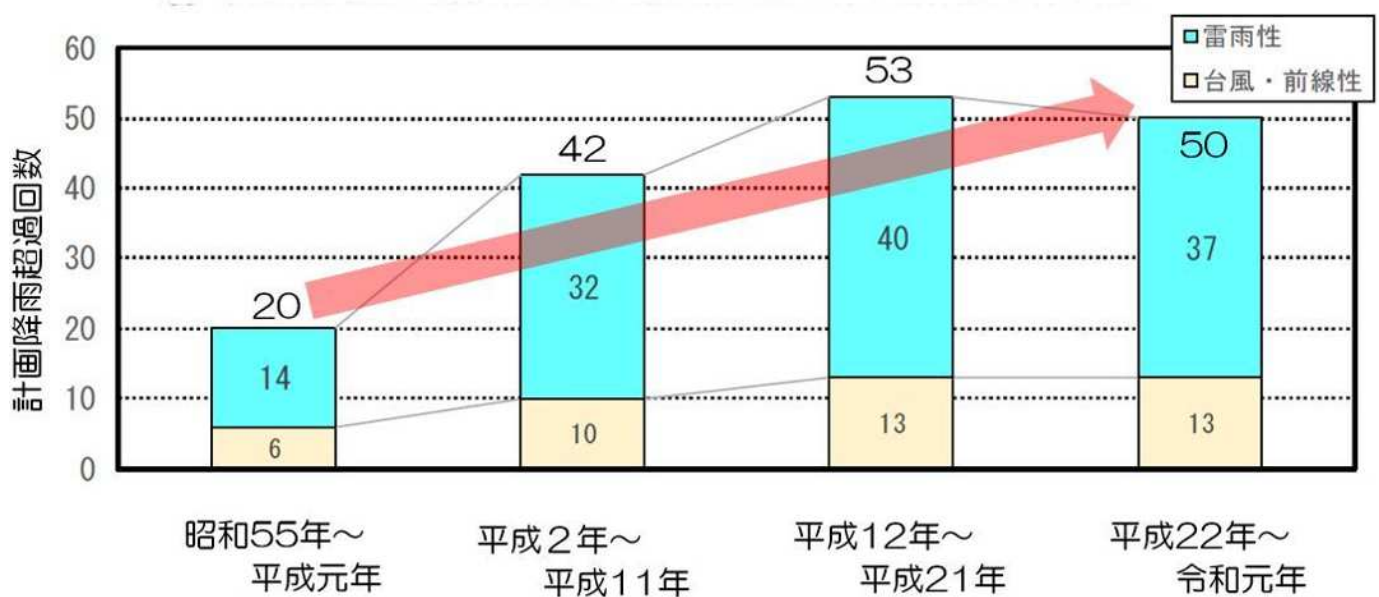


○流域面積 18.3km² (中野区、杉並区、練馬区、武蔵野市)

○河川延長 10.5km 下流端：神田川合流
上流端：杉並区善福寺町二丁目

3

近年の降雨状況の変化



1 時間 5 0 mm又は24時間152mmを超過する発生要因別降雨数の経年変化
(昭和55年～令和元年 (過去 4 0 年間))

4

善福寺川における過去の代表的な水害

■平成17年9月の豪雨

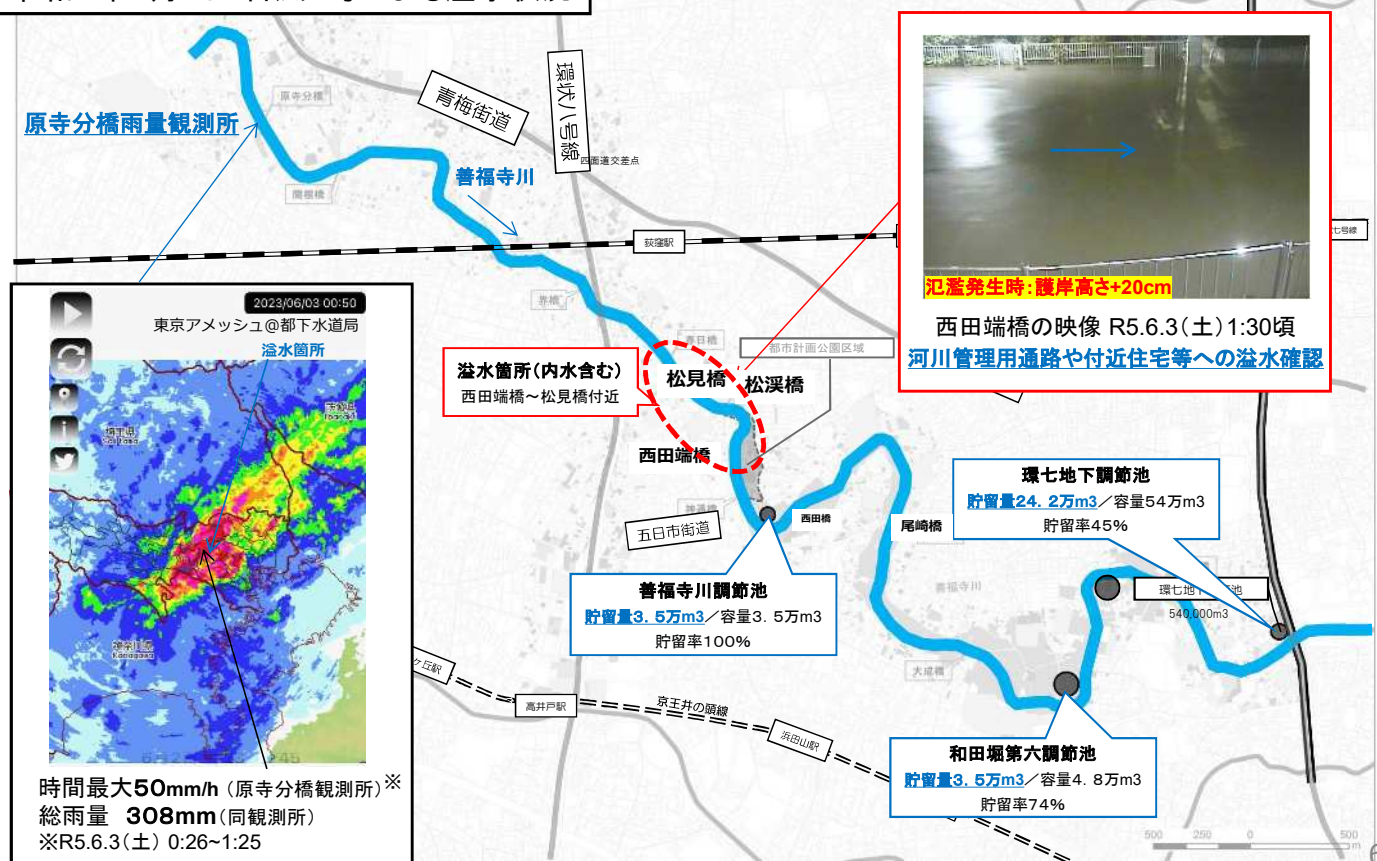
妙正寺川、善福寺川上流部を中心に、9月4日夕方から5日未明にかけて時間最大100mm以上の激しい雨が降り、杉並区、中野区、新宿区で**浸水家屋3,000戸以上の甚大な被害**が発生。

- ・総雨量 : 263mm (下井草観測所・杉並区)
- ・時間最大雨量: 112mm/h (下井草観測所・杉並区)

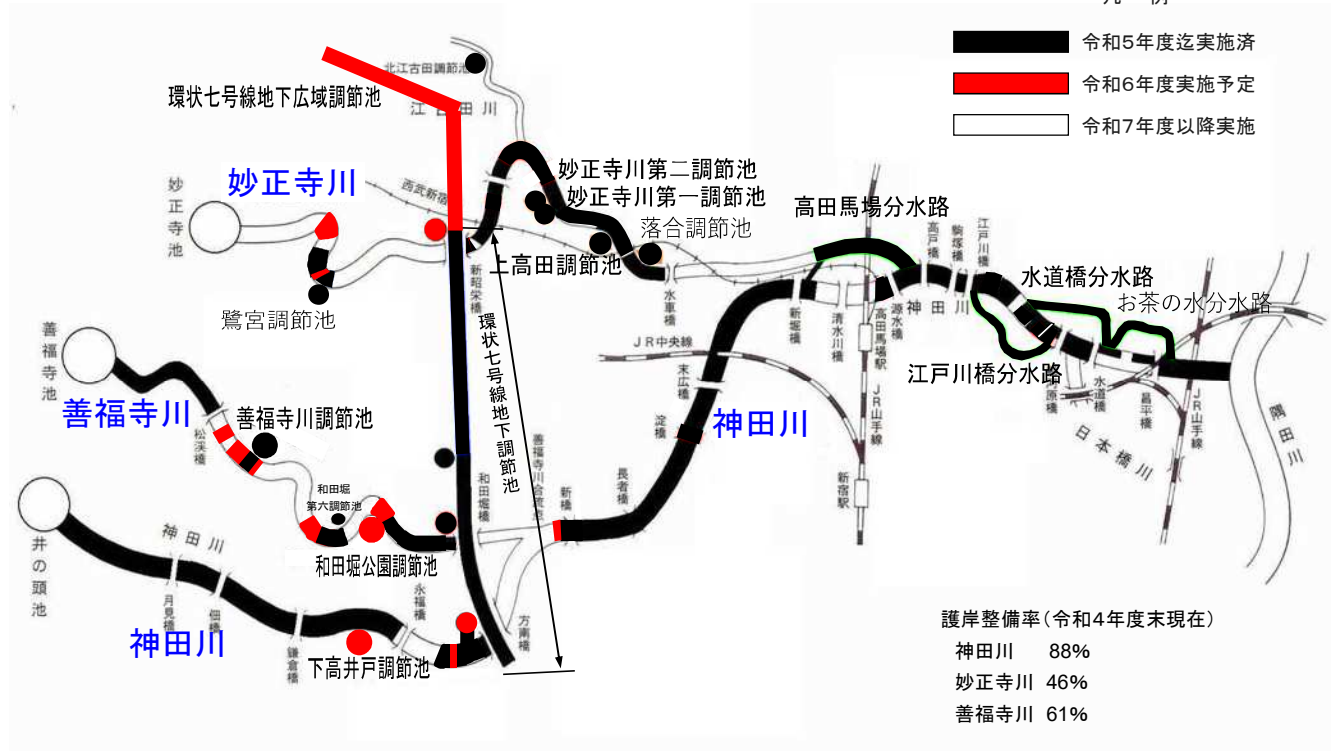


善福寺川における最近の水害

令和5年6月3日 台風2号による溢水状況

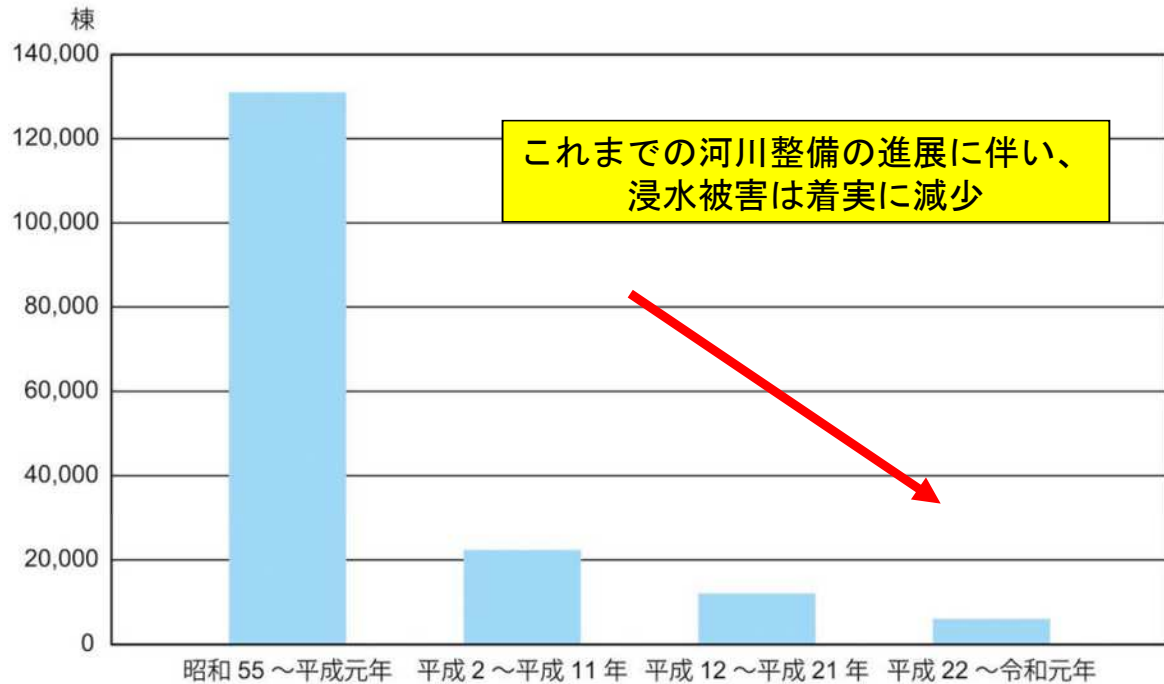


神田川流域の整備状況



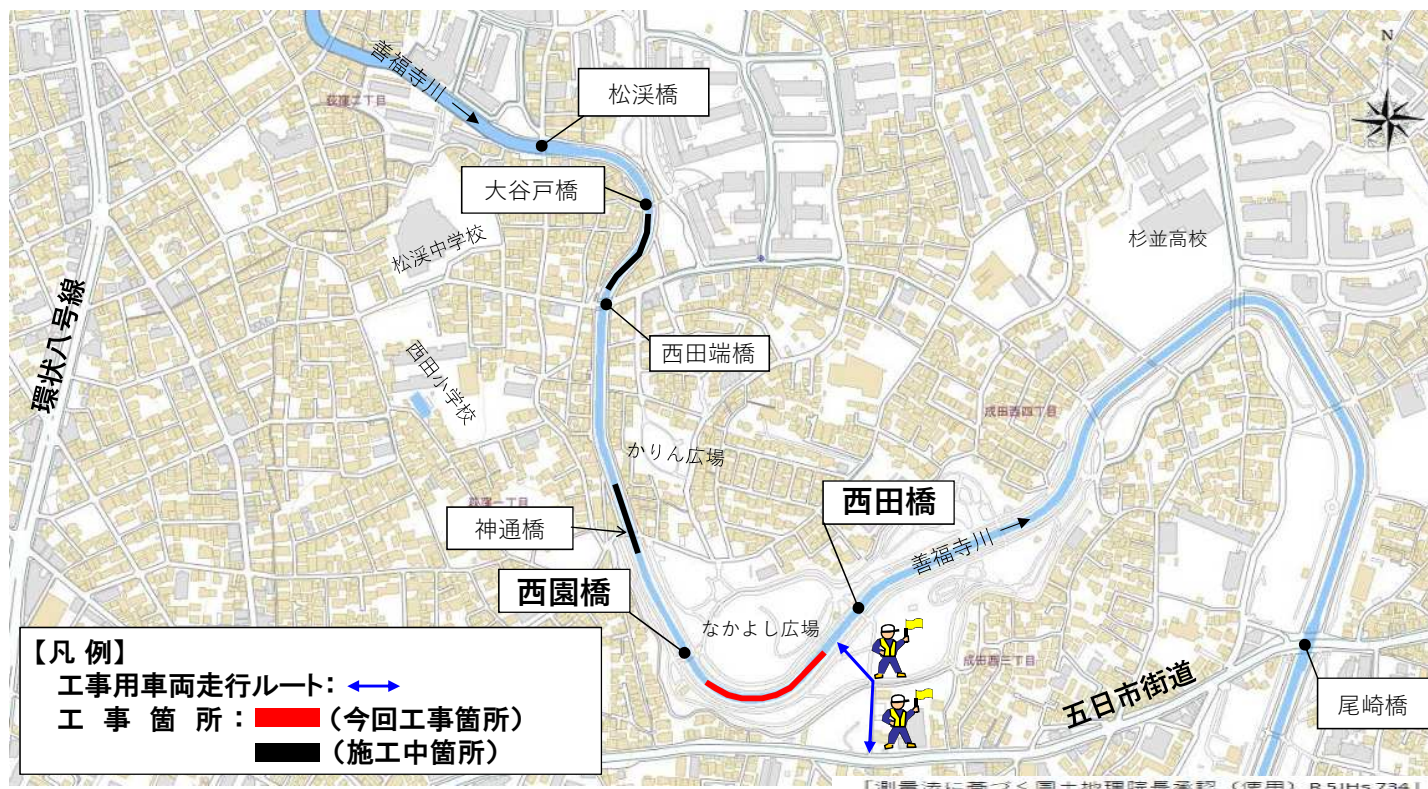
7

これまでの河川整備効果



都内全域における浸水棟数の経年変化

工事用車両搬出入経路図

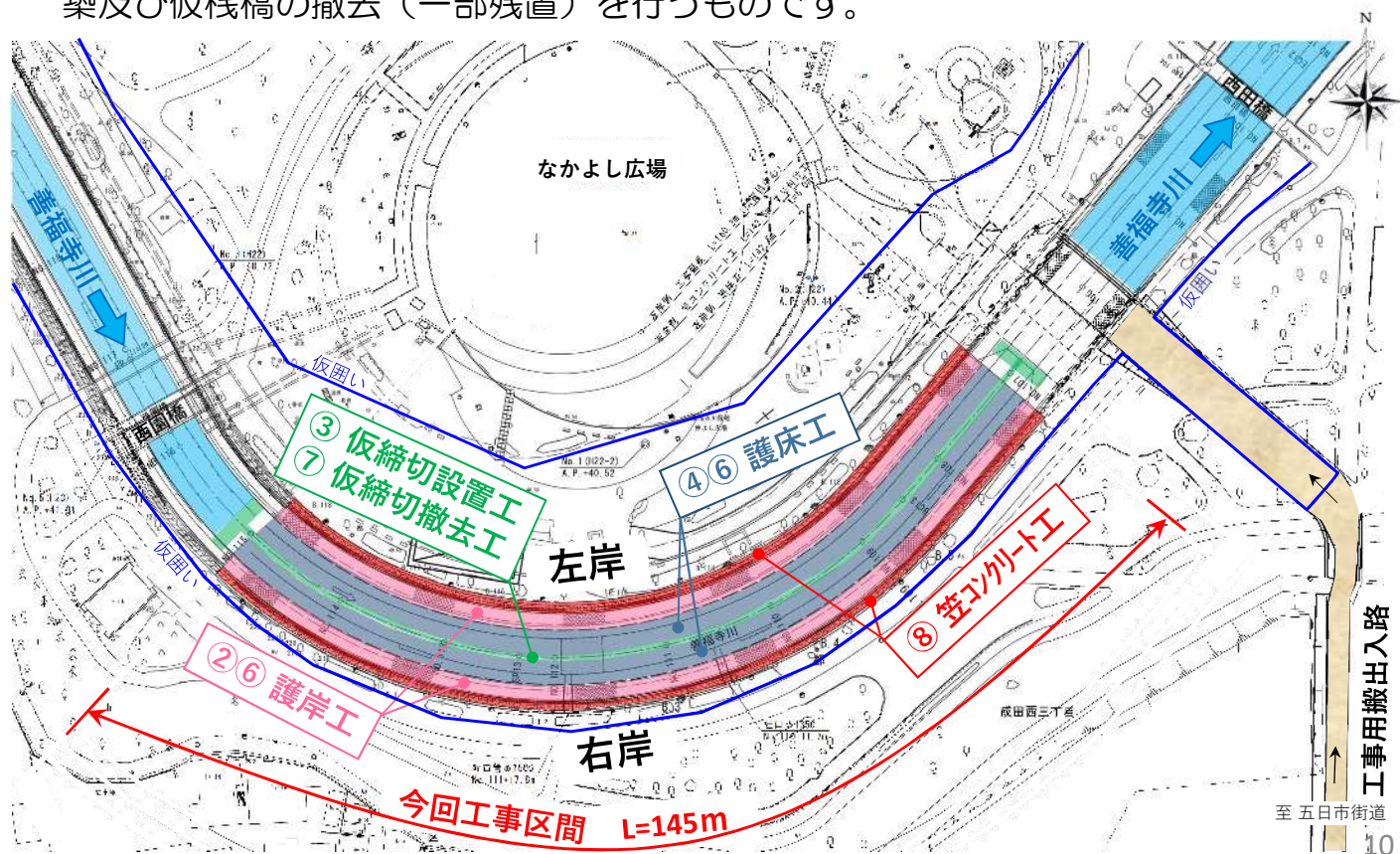


車両通行(出入り)時は、五日市街道に1名、ヤード出入口(善福寺川緑地内)に1名交通誘導員を配置し歩行者が安全に通行できるよう誘導を行います

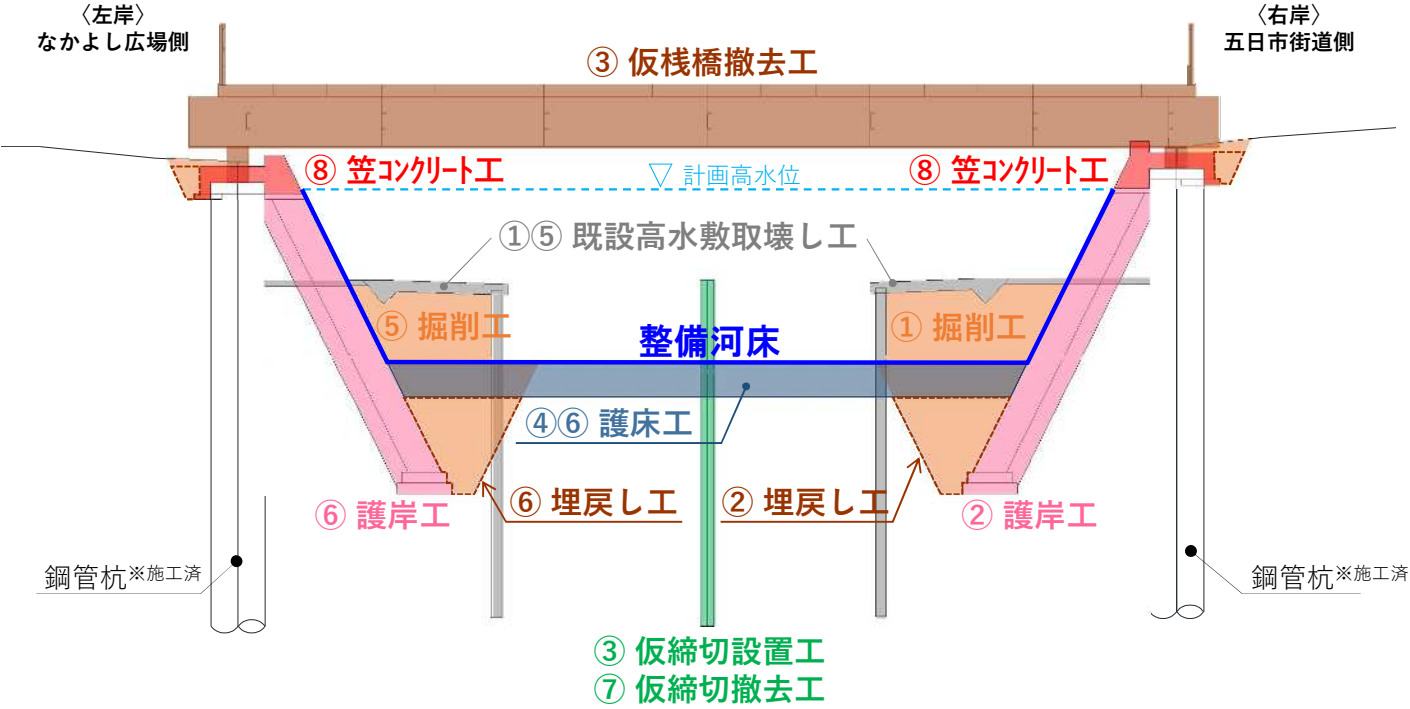
9

工事内容

本工事は、善福寺川緑地内の西田橋上流から西園橋下流までの両岸の護岸構築及び仮栈橋の撤去（一部残置）を行うものです。



今回工事の工事断面



※ 上記の①～⑧は、施工の順番を表しています 11

工事工程表

	令和6年												令和7年											
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
準備工・片付け工																								
① 既設高水敷取壊し工、掘削工 (既設高水敷を取壊し、新しく造る護岸の下端まで土砂を取り除きます)																								
② 護岸工、埋戻し工 (新しい護岸を構築後、護床工を設置する高さまで土を埋め戻します)																								
③ 仮桟橋撤去工、仮締切設置工 (仮桟橋を撤去しながら仮締切鋼矢板を圧入します)																								
④ 護床工 (根固めブロック設置します)																								
⑤ 既設高水敷取壊し工、掘削工 (既設高水敷を取壊し、新しく造る護岸の下端まで土砂を取り除きます)																								
⑥ 護岸工、埋戻し工、護床工 (新しい護岸を構築後、護床工を設置する高さまで土を埋め戻し、根固めブロックを設置します)																								
⑦ 仮締切撤去工 (仮締切鋼矢板を引抜きます)																								
⑧ 笠コンクリート工、転落防止柵設置工 (護岸上部の笠コンクリートを構築し、転落防止柵を設置します)																								

※工事の進捗、天候等により工程が変更となる場合があります。

工事概要

工事期間

自 令和6年 5月中旬から
至 令和7年 12月中旬まで（予定）

※1：土・日・祝日は原則作業を行いません。

（荒天や祝日等により平日作業が行えない場合は、土曜日に作業を行う場合がございます。）

施工時間

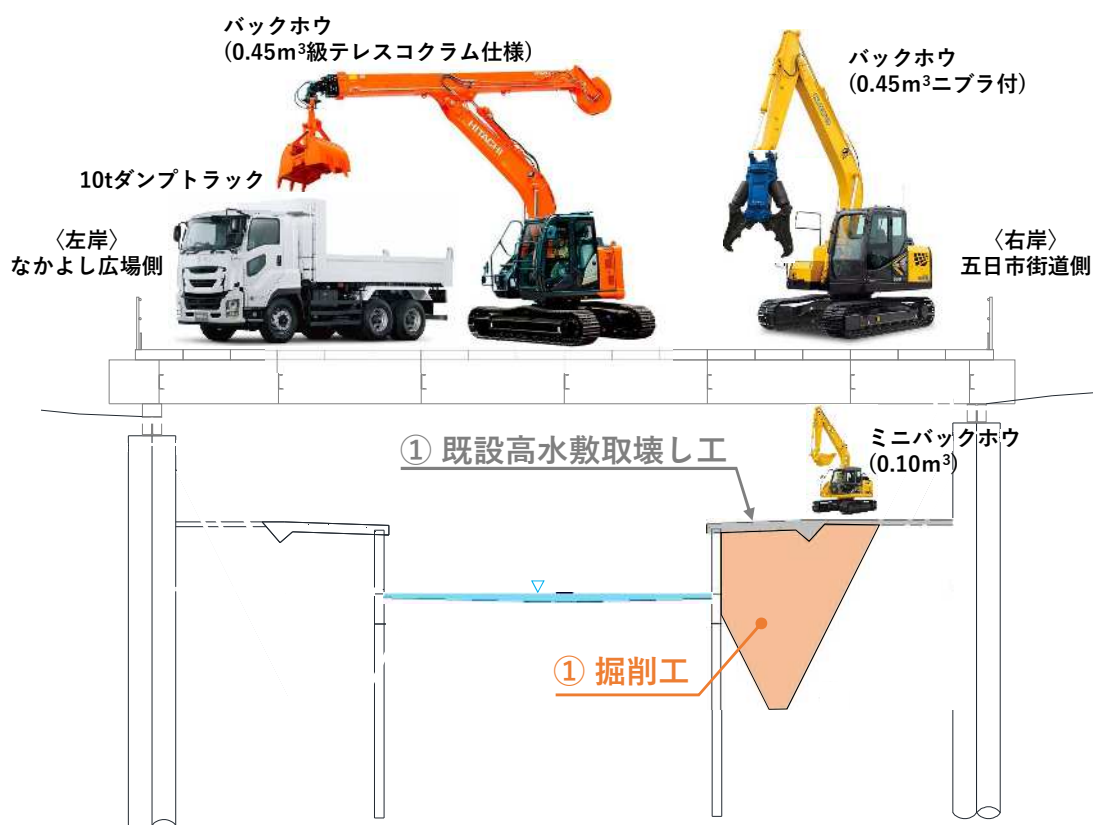
午前8時 から 午後6時まで

午後5時：作業終了 午後6時：片付け完了

※2：工事の進捗に応じて変更させていただく場合もございます。

13

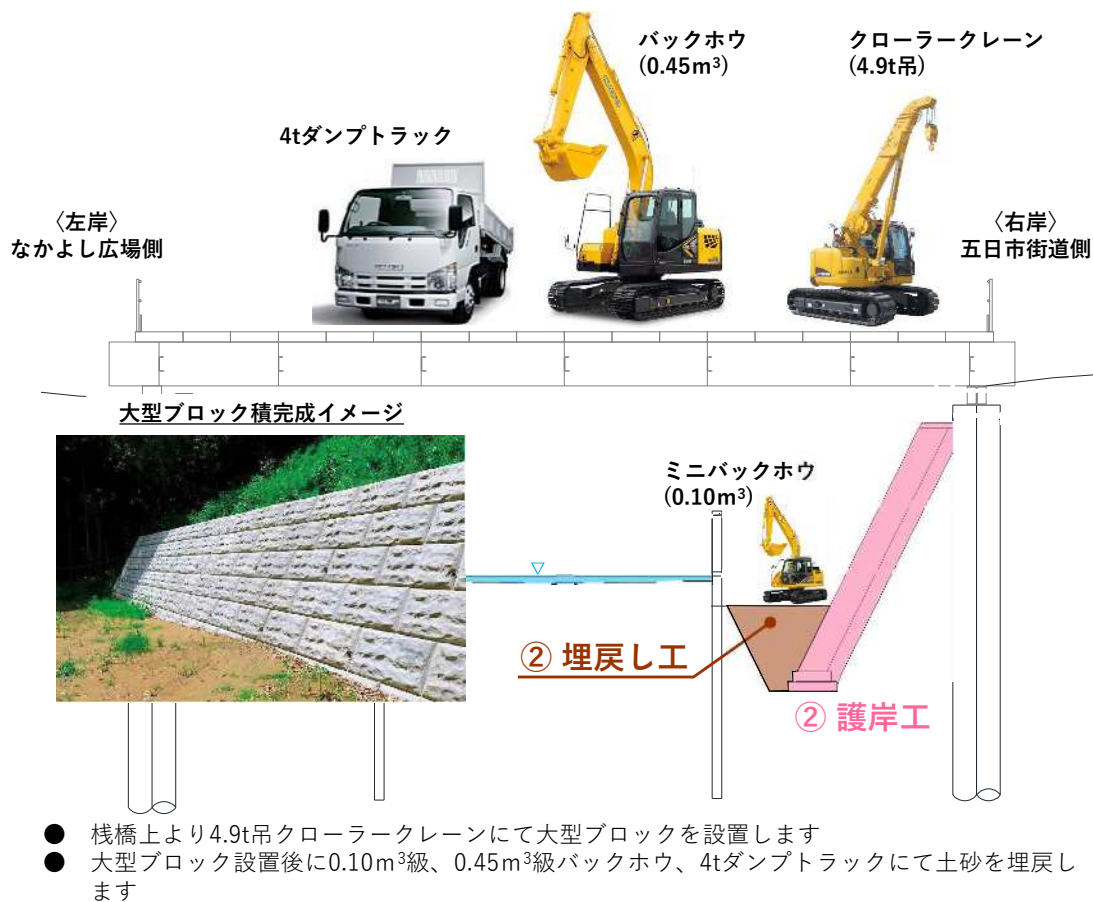
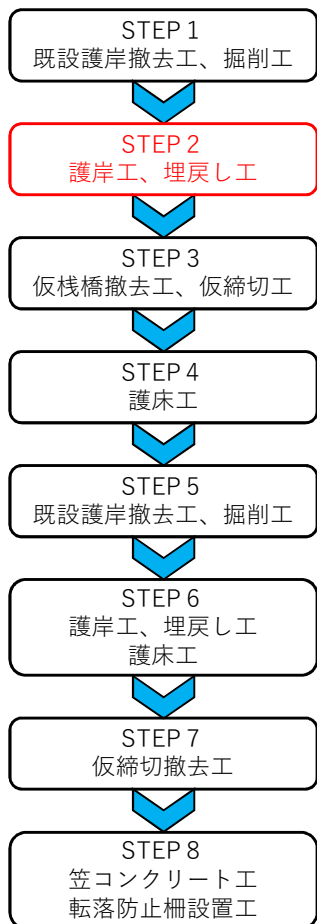
STEP 1 既設護岸撤去工、掘削工



- 栈橋上より0.45m³級バックホウ(ニブラ付)にてコンクリートを取壊します
- 0.45m³級バックホウ(テレスコプ仕様)と0.1m³級バックホウにて掘削します
- コンクリート塊及び掘削した土砂は、10tダンプトラックにて場外に搬出します

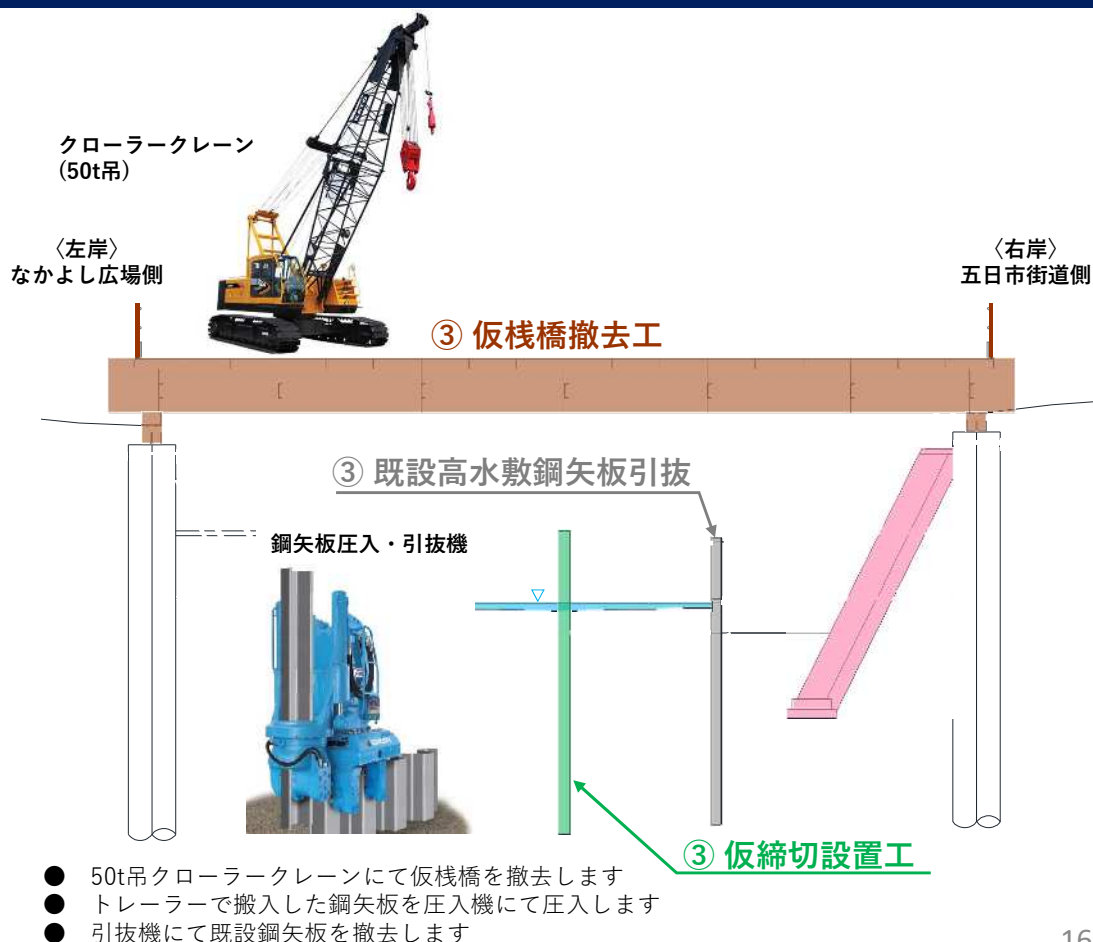
14

STEP2 護岸工、埋戻し工



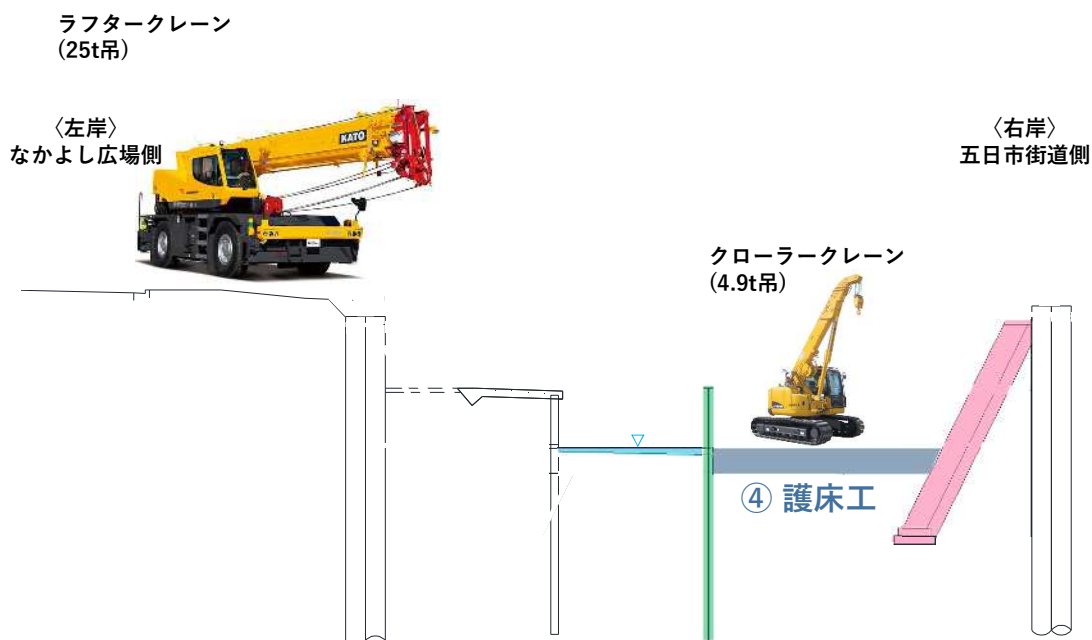
15

STEP3 仮栈橋撤去工、仮締切工



16

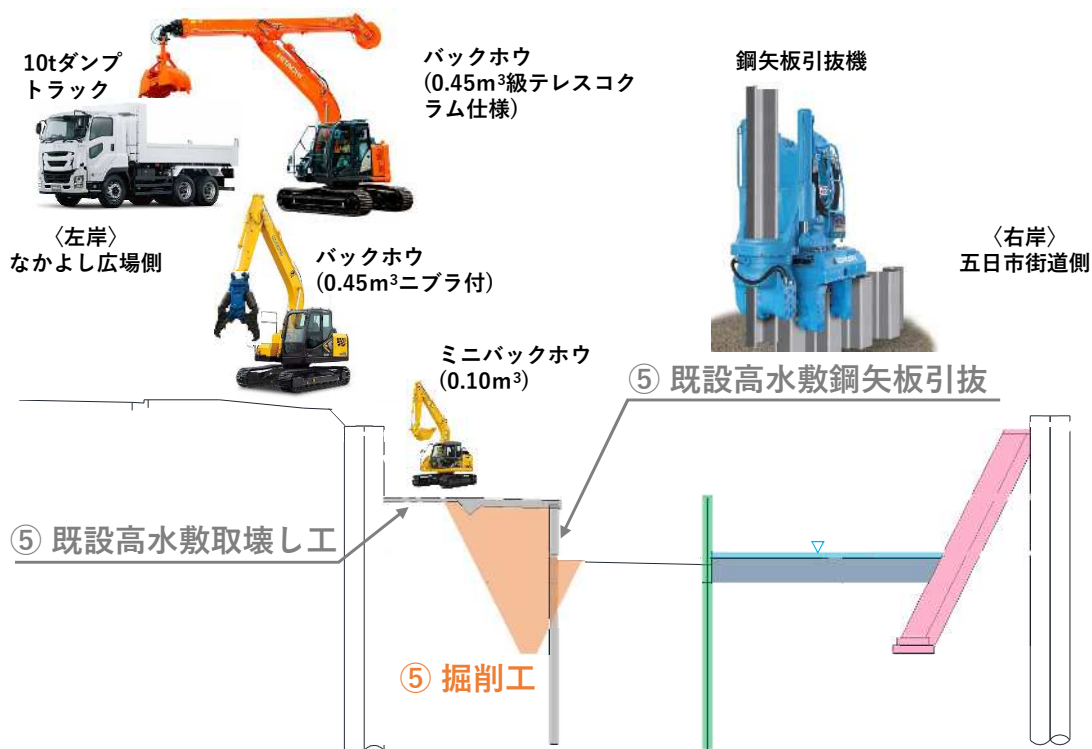
STEP4 護床工



- 工事ヤード内から25t吊ラフタークレーン、仮締切内では4.9t吊クローラークレーンにて根固めブロックを設置します
- 設置後、所定の連結金具により連結します

17

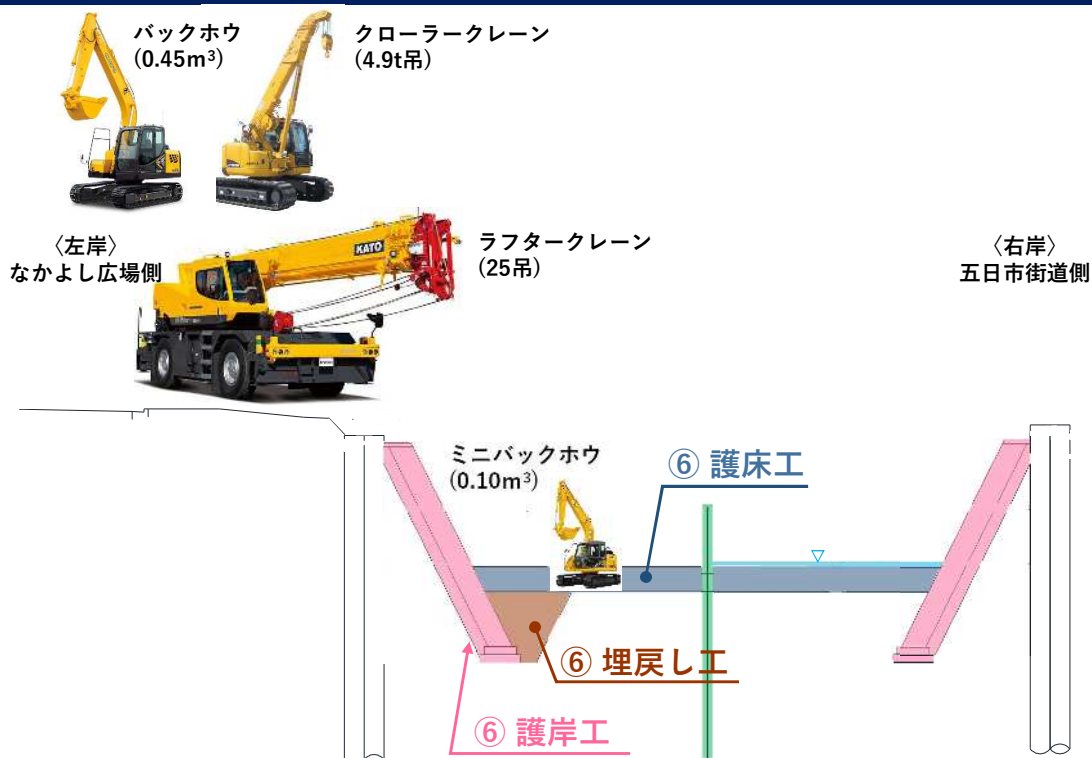
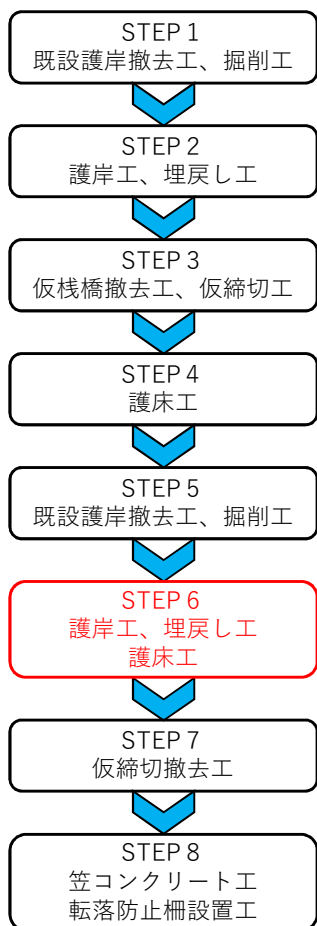
STEP5 既設護岸撤去工、掘削工



- 工事ヤード内より0.45m³級バックホウ(ニブラ付)にてコンクリートを取壊します
- 0.45m³級バックホウ(テレスコラム仕様)と0.1m³級バックホウにて掘削します
- コンクリート殻、掘削した土砂は、10tダンプトラックにて場外に搬出します
- 引抜機にて既設鋼矢板を撤去します

18

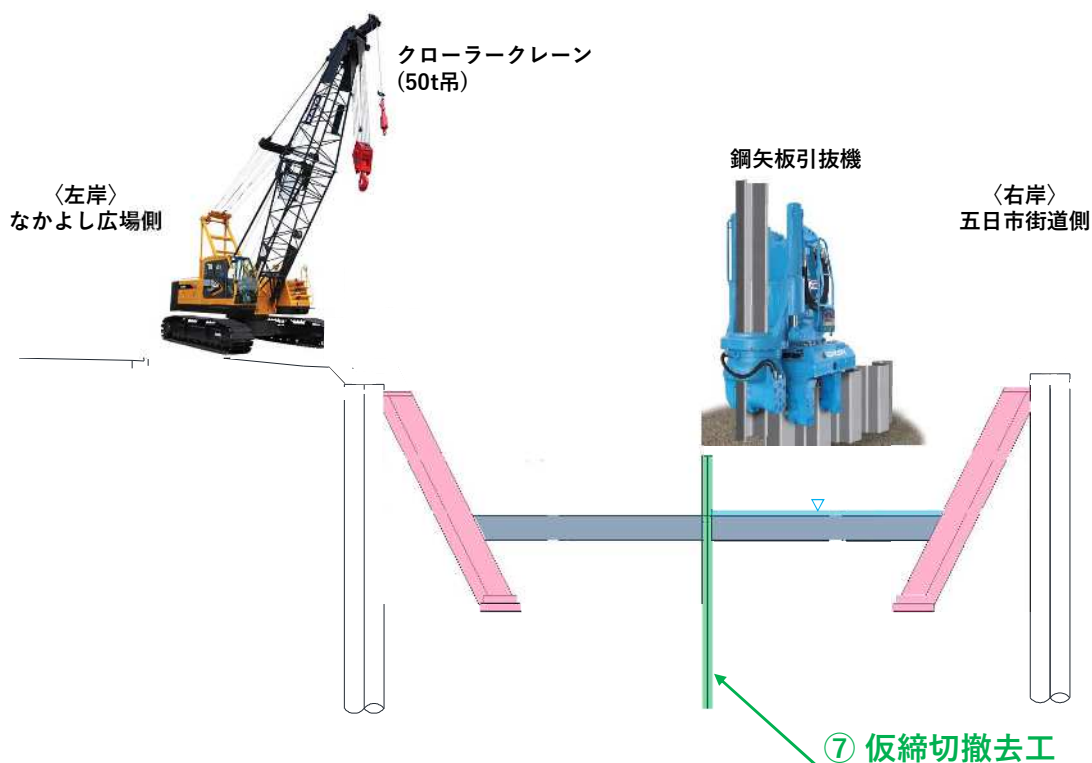
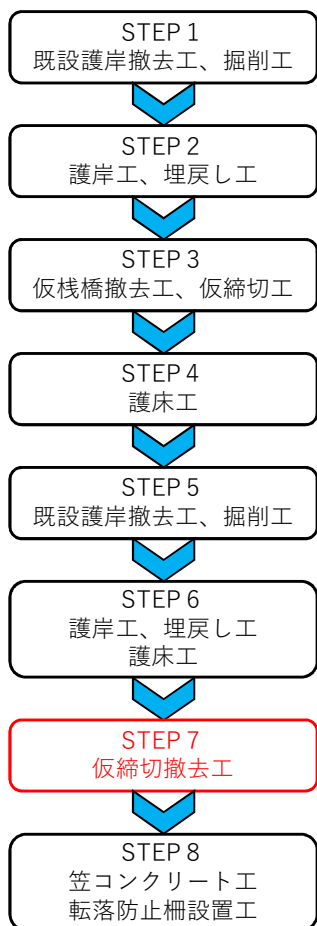
STEP6 護岸工、埋戻し工、護床工



- 工事ヤード内より4.9t吊クローラークレーンにて大型ブロックを設置します
- 大型ブロック設置後に0.10m³級、0.45m³級バックホウ、4tダンプトラックにて土砂を埋戻します
- 所定の高さまで埋戻した後、25t吊ラフタークレーンにて根固めブロックを設置します

19

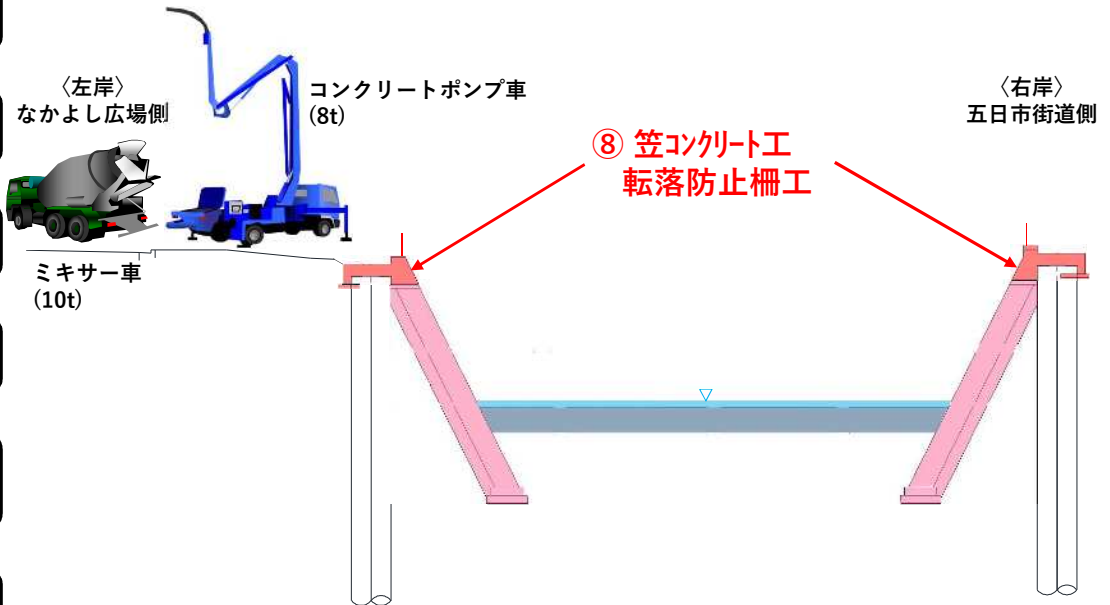
STEP7 仮締切撤去工



- 工事ヤード内から50t吊クローラークレーンと引抜機にて仮締切鋼矢板を撤去します
- 撤去した鋼矢板は、トレーラーにて搬出します

20

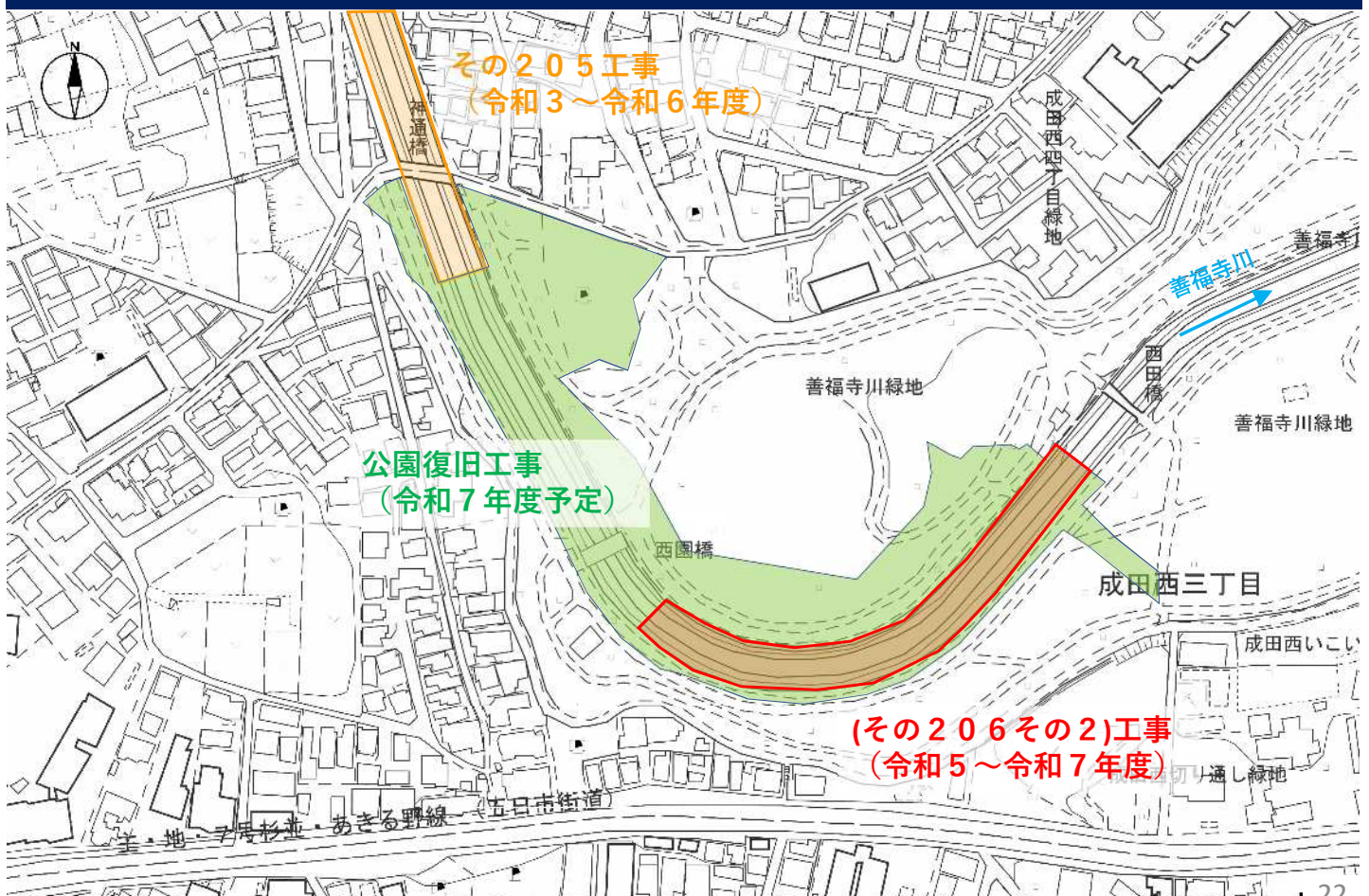
STEP8 笠コンクリート工、転落防止柵設置工



- 工事ヤード内にコンクリートポンプ車とミキサー車を配置し、コンクリートを打設します
- 人力にて笠コンクリート上に転落防止柵を設置します

21

今後の整備について



22

工事に伴う家屋調査と家屋損害賠償について

はじめに

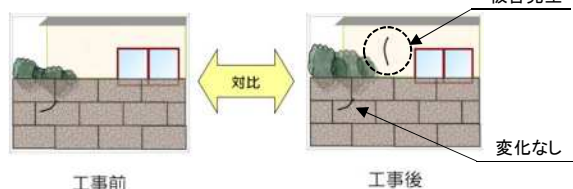
日頃より善福寺川整備事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。工事は、近隣家屋へ影響を及ぼさないように十分留意して進めて参ります。ここでは、工事に伴う家屋調査と損傷があった場合の損害賠償についてご案内させていただきます。

家屋調査とは

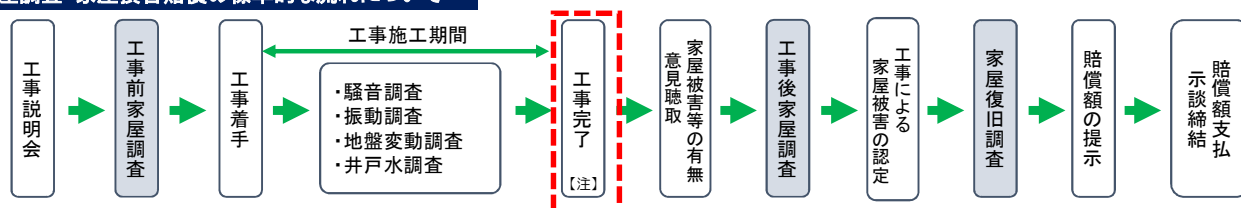
工事による近隣家屋への影響の有無について、正確に判断する資料を得るため、工事の着手前と完了後に家屋及び屋外の工作物を調査するものです。着手前と完了後の家屋内外の状態を比較し、工事が原因で被害が生じたことが確認された場合、家屋復旧調査を行った後、金銭にて賠償いたします。

【家屋への影響が想定される工事内容】

(例) 既設護岸取り壊し、鋼管杭圧入時の振動など



家屋調査・家屋損害賠償の標準的な流れについて



■ 家屋等の調査に伺います。

【注】工事の影響が複数の工事にまたがる場合には、影響する全ての工事が完了した時点となります。

家屋調査の内容

屋内：柱や床の傾斜測定、壁や建具等の状態把握（写真撮影含む）

屋外：壁や塀等の傾斜測定、土間や扉等の状態把握（写真撮影含む）



※撮影した写真を含む個人情報は厳重に管理致します。

注意事項

- ① 調査を辞退された箇所は、損傷と工事の因果関係を立証することが出来なくなるため、ご自身で因果関係を証明して頂かない限り、賠償することができません。
- ② 工事前家屋調査～家屋復旧調査の間に家屋等の補修・外壁の塗装などを行う際には、事前にご連絡ください。確認が出来ないまま家屋の補修等が実施され、損傷と工事の因果関係を立証できなくなった場合には、賠償することができません。
- ③ 家屋損害賠償は、金銭による賠償となります。また、損害賠償額は、被害を認定した時点の単価を用いて統一した基準により算定します。

【問い合わせ先】

★善福寺川整備事業全般に関すること

東京都第三建設事務所 工事第二課 設計総括担当

⇒ 電話 03-3387-5367

★今回の説明会に関すること、善福寺川整備工事(その206)その2に関すること 現在実施中の善福寺川整備工事(その205)及び(その210)に関すること

東京都第三建設事務所 工事第二課 善福寺川事業センター

⇒ 電話 03-5305-3540

★善福寺川整備工事(その206)その2の内容や施工方法等に関すること

受注者：名工建設株式会社

⇒ 電話 03-6383-5214

※ 上記の電話番号はR6年5月13日より開通します

ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解・ご協力お願い致します。